



志を育む指導の推進

～「いかに生きるか」をキーワードにした全教育活動を通じた取組～

やる気スイッチ

秋田市立山王中学校

学習だより

30.10.5

No.9

全国学力・学習状況調査結果について

3年生に個人票を配付します。各教科の領域ごとに結果が正答数で表され、グラフには正答率が全国・全県と比較できるように載っています。その正答数などを参考に苦手なところを確認し、これからの学習に役立ててください。また、高校入学選抜試験の問題には、国語B、数学Bのように身に付けた基礎的・基本的な内容を活用する力をみる問題が出題される傾向にあります。もう一度間違えた問題に取り組んでみましょう。

1 本校の「国語」「数学」「理科」の分析結果

国語A、B、数学A、B、理科ともに、総合的に見ると、全国平均を上回る結果でした。詳細は以下の通りです。

国語A【主として知識に関する問題】

○よかったところ

話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項のどの領域も全国、県平均を上回る結果でした。

●課題となるところ

漢字の読みと、語句の意味を理解して文脈の中で適切に使うことについては課題となりました。

国語B【主として活用に関する問題】

○よかったところ

話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項のどの領域も全国、県平均を上回る結果でした。

●課題となるところ

話の展開について質問することについては課題となりました。

これからの学習では

課題となった漢字の読みや語句については、調べ、繰り返し練習して、知識を身に付ける必要があります。授業でも取り上げますが、反復練習をすることで、確かな知識を身に付けることができます。また、説明的文章では、文章中に出てくる言葉についての確かな言い換えができるよう、文学的文章では、自分の言葉であらすじをまとめられるよう、授業で取り上げ指導していきます。

数学A【主として知識に関する問題】

○よかったところ

数と式、図形、関数、資料の活用のどの領域も全国、県平均を上回る結果でした。

●課題となるところ

①絶対値の意味、②単項式の除法、③回転体の名前、④見取り図や投影図、⑤線対称で点対称な図形、⑥確率の意味についての問題が課題となりました。

数学B【主として活用に関する問題】

○よかったところ

数と式、図形、関数、資料の活用のどの領域も全国、県平均を上回る結果でした。

●課題となるところ

①考察の対象を明確に捉える問題、②証明をもとに新たな性質を見いだす問題、③数学的な表現を用いて説明する問題が課題となりました。

これからの学習では

今回の結果を受けて、「資料の活用」については、1年生の最後に学習して、3年生の受験勉強の時期になって初めて、学び直すことが多い領域であるため、普段使わない数学用語も多くあり、今後、定期的に復習の場面を設けていくようにする予定です。授業時は、説明や発表する時には、数学用語を常に意識するよう指導していきます。

また、生徒質問紙の中の「数学の勉強が好きですか」という質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた生徒は83.8%で、県平均より高い結果です。この好意的な気持ちを大切にして、スモールステップで進めたり、問題提示を工夫したりしていきます。

理科

○よかったところ

物理、化学、生物、地学、どの領域でも全国、県平均を上回っており、特に物理、生物領域の平均正答率が高い結果でした。

●課題となるところ

①光の反射規則性、②ガスバーナーの操作、③蒸散と湿度について課題となりました。また、記述式の無答率が県平均を上回る結果でした。生徒質問紙から、自然体験の少なさが目立ちました。理科の学習と日常生活との関連性について考えている生徒や、社会で役立つ学習であると考えている生徒の割合が県平均に比べて少ない結果でした。

これからの学習では

この結果から、理科の学習と日常生活の事象とを関連付けて考える生徒が比較的少ないことが分かりました。各単元の学習において、日常生活の中での事象を学習課題にしたり、様々な事例を提示したりすることで、思考力を高めていきたいと考えます。また、記述式問題の無解答率が多いことは昨年度からの課題であり、観察・実験の結果の考察で自分の考えをまとめることを重視するとともに、多様な考えに触れる機会として、グループでの話し合いの場面やクラス全体での意見交換の場を設定することに力を入れ、継続指導していきます。

3 生徒質問紙による、生活や学習への意識について

〔△二極化しているところ、●は課題の見られるところ〕 () の数値は%

〈学習習慣について〉

△普段どれくらい読書をしますか。

「3時間以上」「2時間以上」(本校37.5、県30.9)「全くしない」(本校21.7、県19.6)

→読書に親しんでいる生徒が多い中、全くしない生徒が21.7%いることが課題と言えます。

●家で自分で計画を立てて学習をしていますか。

「している」「どちらかといえばしている」(本校54.6、県73.2)

→計画的に見通しをもった家庭学習への取組が課題と言えます。

〈家庭生活〉

△家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか。

「している」「どちらかといえばしている」(本校86.2、県81.2)「全くしない」(本校5.3、県4.2)

→家族との会話は充実していることが分かります。一方で家族との会話のない生徒もいる現状です。

●毎日同じぐらいの時間に寝ていますか。

「寝ている」「どちらかといえば寝ている」:(本校69.1、県80.2)

→家庭での生活習慣形成がまだなされていない生徒が4割いるのが現状です。

〈社会や地域との関わり〉

●人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」(本校95.4、県97.8)

●地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」(本校71.7、県74.6)

●地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」(本校41.9、県57.5)

●地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。

「参加したことがある」(本校49.3、県70.2)

→3年生は地域貢献学習を行い、社会の一員として、地域の一員として、社会のため、地域のためにできることは何かを考え、5月には高齢者福祉施設での「ふれ合い活動」を行いました。夏休み中には、個人の課題に沿った活動を行いました。また、10月4日には、1回目の成果と課題を生かした2回目の高齢者福祉施設での貢献活動を行いました。今後も社会や地域のために自分の力を発揮できるよう学習を進めていきます。

保護者の皆様へ

調査結果から、家族との会話が充実している生徒と、全く会話せず生活している生徒がいることが分かりました。また、就寝時間や家庭学習の計画的な取組に課題が残る生徒がいることが分かりました。生活リズムを整えて規則正しい生活をすることは、授業での集中力や健康な生活にもつながります。この結果を真摯に受け止め、学校でも指導していきます。ご家庭でも、お子さんとのコミュニケーションを図り、基本的な生活習慣や時間の使い方にも気を配ってくださいますようお願いいたします。